

福井県衛生環境研究センター活動報告 概要

発表演題名	福井県における水環境中の医薬品類の実態把握
発表学会名	第 26 回日本水環境学会シンポジウム
発表者名	和田 理誠（環境部）
開催場所	大阪大学吹田キャンパス（大阪府吹田市）
発表日時	令和 5 年 9 月 21 日（木）10：40～12：30
発表内容	近年、ヒトや動物に使用された医薬品類が水環境中に流出し、水生生物に悪影響を及ぼす可能性が懸念されている。服用された医薬品類は、し尿や糞便とともに、下水処理場等を通じて公共用水域に排出されるが、一部の医薬品類は下水処理で除去されにくいことが報告されている。公共用水域中に存在する医薬品類については、大都市の河川を対象とした調査研究事例はあるが、福井県内を対象とした研究はない。 本研究では、県内の水環境中に存在する医薬品類の把握を目的とし、大都市で検出例の多い医薬品類について、河川水および下水処理場の流入水と放流水に含まれる医薬品類の実態調査を行った。その結果、医薬品類濃度は流域人口密度および河川流量と関係があることが確認された。また、河川水と下水処理場放流水に含まれる医薬品類の種類については類似性が確認された。